

## サイアバイン SP-205

### 1. 特徴

- ・2液硬化型ウレタン系粘着剤です。
- ・中粘着で再剥離性に優れます。

### 2. 性状

	主剤 < SP-205 >	硬化剤 < T-501B >
外観	無色透明	淡黄色透明
不揮発分	50.0 ± 1.0 %	75.0 ± 2.0 %
粘度	3000 ± 1000 mPa·s	300 ± 100 mPa·s
溶剤	酢酸エチル、トルエン	酢酸エチル

(粘度: B型 #3/12min<sup>-1</sup> at 25°C)

### 3. 使用方法(例)

配合 : 主剤 1.00kg / 硬化剤 30g

塗布量 : 約 12g/m<sup>2</sup> (dry)

乾燥 : 100°C-2min 熱風オープン

熟成 : 塗工後、40°Cdry、3days

## 4. 性能

試験項目				硬化剤部数		
				1.0 部	3.0 部	5.0 部
粘着力 [mN/25mm]	23°C -50%RH	SUS	24hrs	3590	380	210
		ガラス	24hrs	4040	450	330
保持力 [mm/70,000sec]	40°C-1Kg	SUS		N.C.	N.C.	N.C.
ボールタック [#]				4	3	3

N.C.: ノンクリープ

### <試料作成条件>

配合 : SP-205 / T-501B = 100 / 1.0, 3.0, 5.0  
 剥離紙 : 市販ポリエステルフィルムセパレーター 38μm  
 基材 : 市販ポリエステルフィルム 50μm  
 塗工 : 弊社テストコーターにてダイレクト塗工  
 塗布量 : 約 12g/m<sup>2</sup> (dry)  
 乾燥 : 100°C-1min (乾燥炉長 3m)  
 熟成 : 塗工後 40°Cdry、3days

## 5. 使用上の注意事項

保存方法 : 屋内にて直射日光を注意して保存  
 取り扱い : 危険物につき火気厳禁  
 配合 : 水分混入注意

\*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

## 6. 一般試験方法

### <粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後測定する。  
測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、ガラス板
永久	:	圧着後、測定雰囲気内に 24 時間放置してから測定する。
測定雰囲気	:	23°C-50%RH

### <保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C
荷重	:	1Kg

### <ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。